

図書館の利用状況及び今後の方向性について

1. 令和2年度の利用状況

(1)前年比における利用状況(7月～2月)

- ①来館者数:約 29%減少
- ②貸出点数:約 3%減少
- ③予約件数:約 **17%増加**(約 90%は Web 予約)
- ④WebOPAC 検索性数:約 **12%増加**

★図書館再開後の利用状況比較(7～2月)

	R1.7～R2.2	R2.7～R3.2	増減数	増減率
来館者数	813,295 人	577,693 人	▲235,602 人	▲28.97%
貸出点数	1,073,657 点	1,044,328 点	▲29,329 点	▲2.73%
予約件数	265,711 件	310,811 件	45,100 件	16.97%
検索性数	2,697,942 件	3,009,004 件	311,062 件	11.53%

(2)利用状況から想定される利用者の行動

- ①来館して書架で資料を探す利用者が減少し、Web 等で予約をして借りる利用者が増加している。
- ②閲覧席等の利用制限や短時間利用の協力をお願いしていることから、滞在目的の利用が減少している。

2. 課題

- (1)コロナ禍における図書館来館者数の減少
- (2)現行図書館情報システムの機能不足(検索・予約等)
- (3)多様化する利用者ニーズへの対応

3. 図書館サービスの今後の方向性

(1) コロナ禍においても安心して利用できる環境整備

① 実施済の取組(前回報告以降に実施した対策)

- ・閲覧席の衝立拡充
- ・持ち帰り用入館票の設置、入館票様式のホームページ掲載
- ・空気清浄機の導入

② 今後検討する取組

- ・利用カードによる入館記録管理と健康チェック
- ・書籍消毒機の増設

(2) 図書館情報システムの強化(令和4年1月実施予定)

① 検索機能の強化

- ・書影表示
- ・多彩な絞込検索機能

② 予約機能の強化

- ・複数巻予約
- ・WEB での受取館変更

③ 新機能の導入

- ・読書記録機能
- ・WEB での所蔵なしリクエスト、レファレンス受付

(3) 新たな図書館サービスの展開

① 実施済の取組

- ・イベント等のオンライン活用
 - 郷土企画展、池波正太郎記念文庫紹介、あかちゃんえほんタイムの YouTube 配信
 - 郷土企画展で展示したパネルやキャプションのホームページ掲載
 - 「読み書き編集ワークショップ」(中高生イベント)の ZOOM 開催
- ・テーマコーナーの設置
 - これまで実施していた特集コーナーとは別に、健康やビジネスなど区民の関心の高いテーマに関連する本やチラシ等を配架するコーナーを設置

② 今後検討する取組

- ・電子書籍サービスの導入
- ・スマートフォン等への利用者カード機能の搭載
- ・座席管理システムの導入
- ・更なるオンライン活用の推進